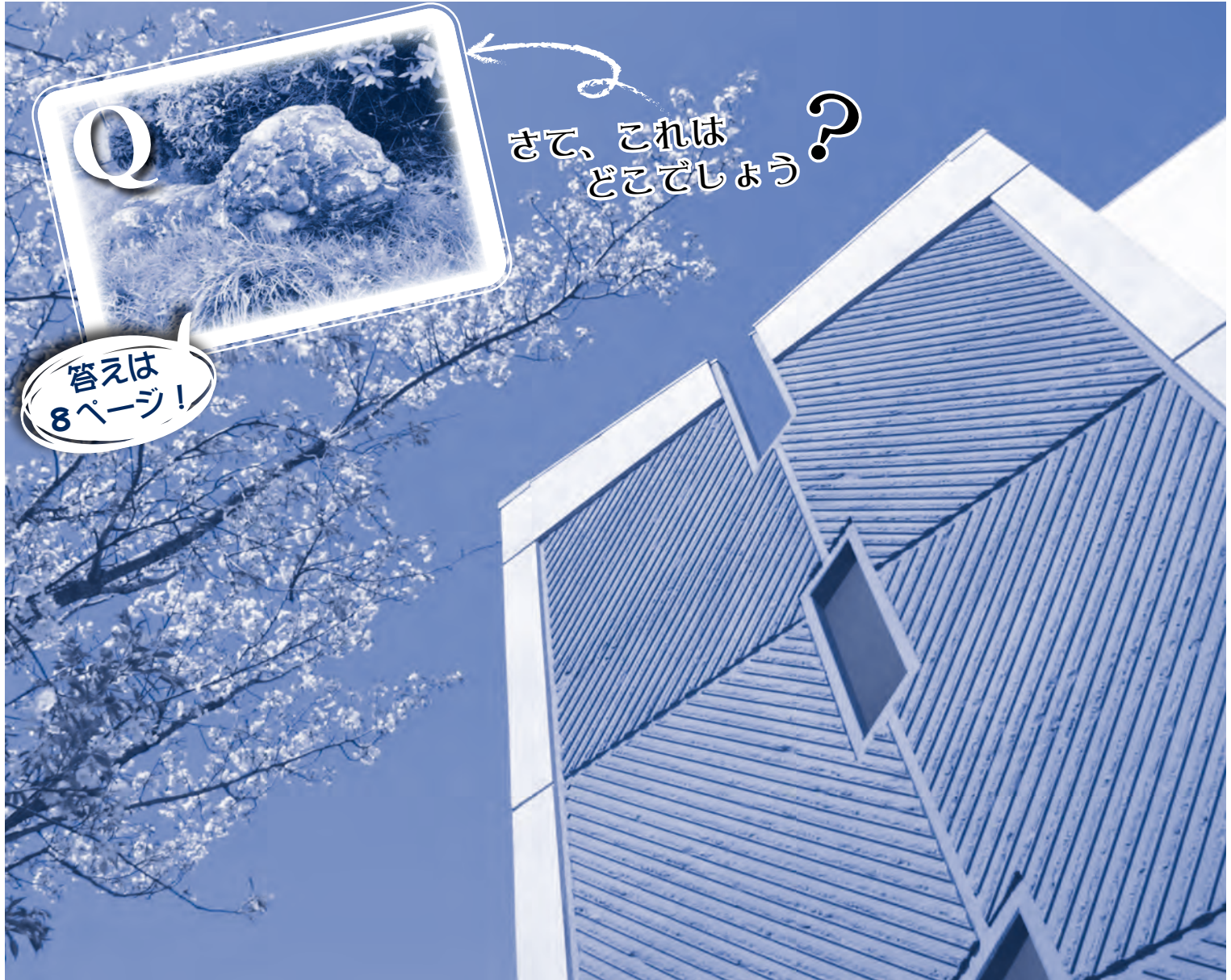


せんぱく

発行所
大阪府立泉北高等学校
同窓会
堺市南区若松台3丁2番2号
TEL 072-297-1065
FAX 072-293-2376



同窓会 定期総会のご報告

第44回 総会を開催します。

日時：平成27年8月9日（日）10時より

場所：泉北高校食堂

会費：2,000円（但し、44期生は無料とします。）

〈案件〉 ●同窓会会計決算報告 ●同窓会予算書（案）

総会決議に関しましては、総会出席者の委任事項とさせていただきます。

「総会后、卒業生を中心に懇親会を行います」



ご挨拶 ~会員の皆様へ~

会長 大井 利三

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は同窓会活動にご協力を賜りまして誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

泉北高校も国際文化、総合科学高校として着実に実績を積み上げ、時代のニーズに即した学校として益々多くの専門知識と活力を養う高校へと発展し続けています。

本年度より制服も新しくなりました。男女ともブレザーになり、今までとは違う泉北高校の雰囲気か漂い、まさに時代の変化を感じています。会員の皆様も平日はなかなか母校に立ち寄ることができないとは思いますが、もし時間が許されれば母校で新しい制服と校内の変化をご覧になっていただければ幸いです。

体育系の部活動の参加人数はかなり偏りがあり、人数の多いクラブと少ないクラブの差が大きくなりました。ある意味で元気がなく感じられるのは多くの様々なクラブが活発に活動していないからそう感じられるのかも知れません。教育面では発展したと言えますが、文武両道といった以前の姿が見受けられない点を今後学校と同窓会が一丸となって改善できればと思います。

紙面に関しても、様々な情報や記事を会員の皆様に提供していただくことにより、もっと身近な会報になるように今後も努力いたします。母校の情報のみならず、同窓生の情報を今後も増やしていきたいと考えていますので、記事に関しましても皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。今年も同窓生の活躍

を掲載させていただきました。ぜひご覧いただけますようお願いいたします。

同窓会活動にあたり年会費として皆様にご協力いただき、誠に有難うございます。前年度にご協力頂いた方々には厚く御礼申し上げます。なによりも会報をご覧になられた皆様からの年会費が増えることが望ましいと考えておりますので、何卒ご理解をいただきまして、できるだけ多くの皆様にご協力をよろしくお願い申し上げます。同窓生の様々な分野でご活躍の方に訪問させていただき、取材のご協力をいただきました皆様には深く感謝申し上げます。今後も皆様の情報提供やご協力を賜りますようお願い申し上げます。会員の皆様が見て楽しめるような会報になるように今後も役員一同努力いたしますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後に

約、半世紀の間、綿々と歴史をはぐくんできた我が母校である泉北高校がもうすぐ、創立50周年を迎えます。私たち同窓会としても、この節目を大事にし、しっかりと祝いたいと思います。そして、次の半世紀、次世代の会員達へつないで行きたいと思えます。同窓生のみならず、是非、ご賛同、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

創立50周年に向けて、同窓会一丸となって周年事業を成功させましょう。



ご挨拶 ~進路指導の在り方を見直すことをミッションとして~ 校長 絵面 功二

泉北高等学校同窓会の会員の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度より泉北高校の校長として赴任してまいりました。赴任前は、民間の幾つかの金融機関で仕事をしており、教育界とは縁も所縁もないところから飛び込んでまいりました。今回、同窓会の会報誌の紙面をお借りし、ご挨拶の機会をいただいたことに深謝いたします。

大学を卒業してから約25年間、金融機関にて、資産運用の幅広い領域で仕事をしておりました。約7年間、ニューヨークにて現地法人の責任者、ファンドマネージャーやアナリストなどの仕事を歴任し、その間、多くの国籍の方々とも仕事をしておりました。そのような者が教育の世界に転じたのは、私の今までの仕事を通じて、ある危機感として感じていたことに対し、教育という領域でその解決ができないかといった思いがあったこと、さらには、私の生い立ちもその動機づけとして強く押したものがありました。

異なる多くの文化や生まれ育ちの環境の違う人々と接する中で、残念ながら、日本の若年層の仕事に対する夢、希望の具体性や思いの強さが、他の国々の同年代の人々と比べて、感じ取れないケースが多々ありました。何がその原因なのかははっきりとはわかりませんが、教育への責任というものは、その多寡はともかくとして存在すると考えております。特に大阪は、アンケート結果などから見て、夢や将来への展望を持たない子供たちが、全国レベルよりも多いことがうかがわれています。世界比較の中で多い日本、その中でもさらに多い大阪の子供たちの状況に対しては、真正面から向き合って、危機感を持って解決することを真剣に考えなければと思慮します。

自分の将来の夢や希望を先に決めようとして卒業後の進路を考えるプロセスが大切です。往々にして、進学や就職可能な先を決め、その後に将来の夢や希望を考えれば良いという流れが主ですが、順番が逆となっています。一方、「高校段階で将来を決めてしまうのは早すぎないか」との意見も聞かれます。確かに、高校生活の間に決めることができない生徒もいるでしょう。それでも良いと思います。重要なのは、今後の10年、15年後がどのような環境になっていくか、社会の変化、社会が求めるニーズがどうなっていくのか、しっかりと生徒たちに教えていくこと、そして、生徒に考えさせる進路指導をしたうえで、それでも夢や希望が見つからないという結果になるのは仕方ありません。そのことを学校が教育しないで、将来の希望や夢を持ってと言っても、生徒たちは、なかなか決めることができないでしょう。したがって、自分の身の回りの社会の変化に関心を持ってもらうことがスタート地点と考えております。キャリア教育の基本はここにあります。

日本を取り巻く環境は大きく変化しています。教育もその変化に対応できるかが重要です。どのような変化になるのか、しっかりと学校現場は、生徒たちに伝えようとして、進路指導をしないとイケないのです。進路指導の在り方を改善していくことこそ、私の使命と考えて取り組んでいきます。近年、少子高齢化、国際化への対応といった言葉が教育界でも謳われております。だから英語が重要だといったロジックですが、では、具体的に社会がどうなるか、だから英語が必要だといった前段階をしっかりと伝えているのでしょうか。

国立社会保障・人口問題研究所発表の人口ピラミッドの過去・将来予測の推移が右記にあります。http://www.ipss.go.jp/site-ad/toppagedata/pyramid_a.html(国立社会保障・人口問題研究所ホームページ)

人口推移は、流行病(パンデミック)の発生、戦争の勃発、移民政策の転換、中国、韓国、日本しかない戸籍制度の廃止などがない限りほぼ予測可能です。今の高校生が社会に出て活躍する頃、先進国では経験をしたことのない高齢化が確実に進むのです。このあたりまでは様々な場面で見聞することでしょう。その動きを受けてどう社会が変わるのかを予見する力を身につけさせることが必要になってきます。

社会構造が大きく変わり、日本市場が縮小する中、先手を打っているのが民間企業の動きです。国際協力銀行の調べでは製造業の全売上高に占める海外売上高の割合は10年前の20%半ばから直近では40%を超える勢いとなっています。既に、国内市場の縮小が現実視される中で、海外に人材を含む資本をシフトしているのです。日本企業の売上の半分以上が海外からと言った状況になるのは時間の問題とみられています。そのような中、どのようなスキルが求められるのか、自分の問題として置き換えて考えさせ、問題に取り組ませることが必要です。これはあくまでも一例ですが、このような事実関係を教えたうえで、進路指導を体系立てて行い、自分がどのように生き抜いていくか、そのための力は何なのか、だからこういった勉強をしなければならないのかを希望と夢を交えて考えさせていくことが重要なのです。

繰り返しになりますが、進路指導の順番は、1. 世の中の動きとその背景を教える。2. 将来の社会の課題や方向性を考えさせる。3. 自分の将来を考えさせる。4. 課題にチャレンジさせる。これらの繰り返しが生徒たちの「生きる力」になると信じています。

ぜひとも、既に社会で活躍されている同窓会の方々からのキャリア教育に対するご助言やご協力をいただければ深甚です。

役職	会	副	副	書	書	会	会	会	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	名	
	長	会長	会長	記	記	計	計	計	監	監	事	事	事	事	事	事	事	事	譽	
平成27年度 役員一覧	6	8	13	4	6	10	12	8	34	4	6	11	15	16	29	7	9	25	29	
氏名	大井 利三	窪田 元信	藤本 隆文	廣末 妙子	脇坂 美智子	岡田 美奈子	梅川 浩	清水 伴明	佃 朋子	辻井 道彦	小田 文雄	天満 英仁	橋本 隆之	松田 義人	菊川 聡	栗林 潤一	吉光 晶	中村 貴亮	近山 誓子	絵面 功二

母校へ帰ってきました (教育実習生) 教育実習を終えて

41期生

富田 勇人

教育実習を振り返り、学んだことは4つあります。ひとつは教師であることの難しさです。授業の中で約40人の生徒の前に立ち、話をする時、本当に自分の伝えたいことを伝えることができているのかということが、一番初めに感じた課題でした。約40人の心を掴むためにはどうすればいいか、様々な工夫を凝らしながら、様々な方法で生徒とのコミュニケーションを図りました。それでも中々伝えきれない難しさがありました。

そんな中に2つ目に学んだことがありました。そういった難しさをどう解決するか、どう克服していくか、と考える工夫をしていく内に、少しでも生徒からいい反応が見られた時に、自分の中に嬉しさと楽しさというものを感じました。教師という職業は、自分が発した言葉に対して、すぐに生徒のフィードバックが返ってきます。いい反応が返って来る場合もあるし、悪い反応の場合もあります。そういったリアルタイムでやりとりをすることができる、素晴らしい職業だということを知りました。

41期生

北村 知摘

3週間の教育実習期間が全ての日程が終了しました。母校で教壇に立つのだという緊張と生徒とうまく関わっていくののだろうか、生徒に教えるという経験のない私が授業なんて出来るのだろうかという不安でいっぱいだった3週間前ですが終わってみれば本当にあっという間でした。これまでの日々を振り返ってみると、まだまだ反省することは多々ありますが少し成長もあつたと感じています。何の実感もなく迎えた初日、母校の後輩達から「先生」と呼ばれることにくすぐったいような気持ちになりました。今までは、教壇に立つ人を見て授業を受ける生活をしていましたが、実習生として教壇から生徒達を見て教える経験をしてみて、教師の責任や難しさを3週間で実感することが出来たと思います。(授業での取り組み)

私は2年総合科学科で英語の授業を担当させていただきました。始めは「教えないければ」と必死に焦りながら授業を進めてしまいましたが、一方的な授業をしてしまいました。何れも自分の不甲斐なさに挫折しましたが、それでも私を先生としてまっすぐ見てくれる生徒の温かい優しさと総合科学科特有の反応(ノリ)の良さに支えられて教壇に立つことが出来ました。実習期間を経て7組での研究授業を含め各クラス最後の授業では、「生徒も楽しそうにしていた。コミュニケーションもとれており、ハキハキ

41期生

延本 薫音

3週間教育実習をさせていただき、たくさんの先生方、生徒から本当に多くのことを学ぶことができました。お忙しい中、泉北高校に実習にこさせてもらったこと、そのなかで出会った方々に感謝します。

私にとって泉北高校は、一番大切な場所です。その理由は、1つはいつでも自分を初心にかえらせてくれる場所であるからです。私は、高校ではバスケットボール部に所属し、大学でもバスケットボールを続けていますが、高いレベルですら様々な立場に立つ人の気持ちを体験しました。試合に出ることができない人、またはプレーをすることができない人、やりたくてもできないという立場を経験し、おかれた場所でどうすればいいのか、次のステップに進むためのあきらめも含め、学ぶことは多かったです。しかし、いろんなことをあきらめながら、自分の中の一番大切にしているものはならなかったものまでも見失っていたと思います。今回の実習では、そういう気持ちをまだしっかり持っていた自分に帰ることができて、前向きに取り組むこと

41期生

雪山 大樹

2週間という短い期間でしたが、多くのことを学ばせていただきました。助言やアドバイスをいただいた先生方、ホームルームや授業を受け持たせてもらったクラスや生徒方、実習を受け入れてくださった泉北高校、たくさんの方々へ感謝を申し上げます。日々のホームルームや授業、体育祭など、自分が生徒だった時とはまた違った視点で泉北高校を見ることができたのは、新鮮であり、また泉北高校が良い学校であると感じました。

みんなが勉強や部活動などを頑張っている姿はとても良く、それをサポートすることができる教員はやりがいがあると同時に責任がある仕事だと思いました。授業では上手くいかなかったと思うことが多く、毎回の授業ごとに先生に指摘をいただいで、修正していきました。言葉遣いや、話すスピード、声の大きさ、板書の仕方、プリントなど、同じ内容の授業でも、意識して、変えていきました。最後まで

41期生

堀 詩織

私は6月1日から6月12日の2週間、社会科で教育実習をさせていただきました。実習について書かせていただく前に、私が教員を目指すきっかけについて述べたいと思います。なぜなら、教育実習生として母校である泉北高校に戻ってくるとは、卒業直後には全く考えていなかったからです。

そんな私がなぜ教師を志したのか。それは私が所属している、関西大学の生活協同組合の学生部での活動からです。そこでは「当たり前を見直す」をモットーに、貧困問題や環境問題、そして戦争と平和を考える取り組みを行っています。それらの活動の一環として福島県を訪問し、仮設住宅での避難者に対する思いなどを伺いました。また、沖繩にある米軍基地とそれに携わる人々に会うことで、現場の声を聞き、自分の問題として考えてきました。さらに大阪市西成区にある、通称「釜ヶ崎」と呼ばれる街での炊き出しの手伝いを通じ、貧困問題は海外だけでなく自分の身近な問題であることを肌で感じました。以上の経験から、私は子どもたちが、これから生きていく社会を考える機会を作る仕事に就きたいと思い、教師になることを志しました。

41期生

柳井 美穂

5月25日から6月12日までの3週間、教育実習でお世話になりました柳井美穂です。実習中、一日一日がとても充実した日々を過ごすことができました。先生方はじめ生徒のみなさん、ありがとうございました。私は教育実習が始まるまでの日々は、3週間はとても長く感じました。そのため、無事に終わることができるのか、生徒のみんなと仲良くになれるのか、充実した3

3つ目に学んだことは、教師としての責任感です。多くの生徒の前に立ち、教師として言葉を語るということは、多くの生徒に大きな影響を与えることになります。軽はずみな言葉で生徒を傷つけてしまう可能性もあります。なので、教師は自分の言葉に責任を持たなければならないと感じました。また、教師が生徒に対してどのような行動を取るかということも、生徒の見本になるわけですから、発する言葉と同様に行動にも重大な責任が伴うものだと感じました。

4つ目に学んだことは、その責任感の裏側にある、やりがいです。実習期間3週間の最後の日に生徒から拍手を貰った時、3週間頑張ってきて良かったという達成感や、やりがいといったものを感じました。もしかこれが3週間ではなく、3年間なら、どれほど大きな達成感があるのだろうかと思い、教師への思いがより一層強まりました。この泉北高校で経験し、学んだことを今後の糧にし、先生方や生徒との出会いに感謝しながら、将来の目標に向けて精進していきたいと思います。お世話になりました、先生方、生徒のみなさん、本当にありがとうございました。

と元気で体育会のようなあなたらしい授業でした」という評価をいただくことが出来ました。これも見限ることなく私に向き合ってくれた泉北高校の生徒が居てくれたからこそのことだと思います。(生徒とのかわり)

HRは国際文化科2年3組を担当させていただきました。このクラスで過ごした日々といただいた物は一生の宝物です。HRをする時や生徒と会話をする時、先生であるはずの私の方が緊張してしまいました。しっかりと挨拶をして話しかけてくれる皆さんから学ぶことが多い日々を過ごすことが出来ました。迷いながらも、きれいな目をして一生懸命頑張る姿を見て、何れも奮い立たされ私も頑張ろうと思うことが出来ました。

最後に母校で沢山の人の支えられながら実習が出来たことに心の底から感謝をしています。今回、実習生として母校に帰り、先生の大変さや仕事量の多さを知ったと同時に、泉北高校の良さを再認識しました。このような貴重な体験を与えてくださった先生方、生徒の皆さん、そして共に支え合った実習生の皆さんに心から感謝を申し上げます。この経験で再び泉北高校に戻ってくるという夢を実現する決意を固めました。これからもしっかりと目標を持ってその目標に向かって努めていきたいと思っています。

が

できました。もう1つ、私が泉北高校を大切に思う理由は、一生懸命何かをできる環境があるところです。施設の面でも他の公立高校より恵まれているところはありますが、それよりも生徒や先生方が一生懸命できる環境をつくってくれています。それが私が高校生だったときも、実習でかえってきたときも変わらずあってくれて、うまくいかないことで悩むことが多かったのですが、それでもいつも見てくれていて、指導をしてもらい、たくさんのことを話してもらいました。そのように関わってくれる方々の支えがあったからこそ、夢になって毎日過ごすことができたと思います。

実習をおえて、まだまだできないことばかりでしたが、初心にかえって一生懸命自分のやるべきことに取り組んで、自分なりに納得のいく教師をめざして頑張りたいです。迷惑をかけてしまったときもありましたが、泉北高校で実習をすることができて、本当に感謝するとともに、それに恥じることをない教師になりたいと強く思います。

納得のできる授業ができたかと言われるれば、できていないと思います。しかし、どの生徒も一生懸命に聞いてくれていて、ミスすることがあってもついてきてくれて積極的に質問をしてくれたりして、私の授業に反応してくれていて、そのことがとてもうれしかったです。その思いにこたえるためにも、もっと良い授業ができるようになりたいと、向上心を持って挑むことになりました。相手にうまく伝える能力などは社会に出てからも必要となる力だと思えます。

私は将来教員になりたいと考えています。ですが、自分が教員として必要な能力はまだ不足していると感じています。今回の実習のなかでその課題が私の中で具体的にみえるようになったのかなと思います。失敗することは多々ありましたがその失敗からまた学ぶことができました。一度失敗したことを繰り返さないように、心がけていきたいです。次に教壇に立つときは一人の教員として、また、ほかの誰にも恥じることはない人間になれるように頑張ります。

さて、教育実習についてですが、私は川田先生の指導の下、世界史Aの授業と、ホームルーム運営をさせていただきました。2週間の実習では、生徒のときには分らなかった教師としての苦勞と楽しさを味わうことができ、とても貴重な経験となりました。

まず苦勞を最も感じたのは、授業準備の時でした。生徒だった時はすでに完成された授業内容が理解できればよかった。しかし教える立場になると、内容について深く理解するだけでなく、生徒が関心をもてる授業を展開する必要性を学びました。

一方で、生徒との交流の楽しさも学ぶことができました。体育祭や、積極的な授業参加態度など、泉北生がもっている明るさや優しさに助けられたことが多くありました。特に最終日に担当学級の生徒たちからもらったメッセージカードは、読む度に生徒たちの顔が浮かび、実習で楽しかったことを思い出させてくれます。

この実習で学んだことを糧に、これから自分かのような教師となりたいのかをしっかりと考えてから、教師を目指したいと思っています。

最後になりますが、お忙しい中、教育実習を引き受けてくださった泉北高校の教職員の方々や、勉強も学校活動も前向きに取り組む生徒たちに感謝します。本当にありがとうございました。

週間を送ることができるのか、など考えると不安という言葉しかよぎりませんでした。しかし、教育実習が始まるとそんな不安を考える時間がないほど充実した一日一日を過ごすことができました。大学に通っている日々では時間が過ぎるのが早いと思ったことがない程、実習中の日々は時間が過ぎていくことが早く感じました。

担当科目は生物だったため、国際の生徒のみなさんと接する時間があまりなかったのがとても残念に思います。実習といえば、授業をする、生徒と話すこと、などが考

えられると思います。生徒と接するためには、実習生の私から話しかけるべきだったのですが、自称人見知りで話しかけることがあまりできなく、どうしようと悩む毎日でした。しかし、そこはさすが泉北生!! 生徒のみなさんから話しかけてくれて、少しずつみなさんとの距離を縮めることができ、とても嬉しかったです。

教育実習が母校である泉北高校でできたことで、教師という職業のすばらしさ、大変さを学ぶ良い機会となりました。また、懐かしい高校時代のことを思い出すことができ、さらに、お世話になった先生方が、こんなに生徒のことを考えてくださって

いたのだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。3週間という長いようで短い時間、泉北高校で教育実習をすることができ本当によかったと心の底から思います。ありがとうございました。

最後に泉北生のみなさん!! これから先、楽しいこと、辛いことなどたくさんことが待ちうけると思いますが、大人になって振り返ったときに「泉北生でよかった」と思えるような充実した日々を過ごしてください。

40期生

山中かれん

不安と緊張でいっぱいだった3週間が終わりました。学級担当は三年七組、教科指導は三年生の理数化学Ⅲと総合化学Ⅱを担当させていただきました。初めの一週間はとても長く感じましたが、授業が始まってからはあっという間に毎日が過ぎていきました。憧れの教育現場での三週間はたくさんの発見がありました。その中でも生徒との関わり方と教科指導の二点は、特に難しいものでした。

はじめに、生徒との関わり方について。最初の一週間は、あえて『大学生の自分』のままで生徒と接していききました。それが正しいことかは今も分からないままですが、生徒名簿を使い、会話の中で得た生徒の情報を書いていきました。名前や趣味を覚えることで生徒との距離はうまく縮めることができたのではないかと思います。大学などでは、生徒との距離の縮め方について考える機会は多くありますが、今回の教育実習で、生徒と仲良くなったその後がとても重要なのだと知りました。自分の話ばかりになっていないか、適当な受け答えになっていないか、生徒が伝えようとしてくれていたことは何か、などを意識することがとても難しく、集中力を使うものとは思っ

ていませんでした。普段している家族や友人との会話の中では経験できないものであり、それらを意識しながら生徒の信頼を得る難しさを学ぶことができました。

二つ目は教科指導について。とにかく自分の知識のなさを痛感しました。勉強するといっても、何から手をつければ良いのかも分からず、時間も限られている状況の中で教材研究をするのは容易ではありませんでした。最初は、生徒のことを一番に考えなければいけない立場であるにも関わらず、自分のことばかりになっていたと思います。生徒目線に一度立ち、授業を組み立てる大切さを学びました。良い授業をしようと努力した分だけ、生徒の笑顔を見ることができる。これは教師という職業の魅力のひとつだと思います。

この他にもたくさんさんの貴重な経験を教育実習ですることができました。3週間という短い期間でしたが、実際に教育現場で活躍されている先生方の姿を見ながら実習できたことは、教員採用試験を受ける私にとって本当に勉強になりました。泉北高校の先生方のように、生徒のことを一番に考えることができるような教師を目指します。最後になりましたが、先生方はじめ生徒の皆さん本当にありがとうございました。

39期生

田畑 歩

私は、2015年5月25日から6月12日までの3週間は泉北高校で、教育実習生として過ごさせて頂きました。始める前は、3週間と聞くと、とても長い期間に思いましたが、終わってみて、振り返ると、とても充実して、内容が濃く、そしてとても早く過ぎていった3週間だったように思います。私が、この教育実習のなかで得たこと、経験したことの中から幾つかを紹介させて頂きます。

私が、教育実習を通してとても印象に残ったことは2つあります。1つ目は、教師に限らず、仕事というのは他の人のために働き、他の人のために仕えることだということを経験できたことです。私は、人の前で話をすることや、誰かに自分の好きな何かを伝えることがとても好きだったので、教育実習の中で、授業をしたり、生徒たちのまえで話をしたりすることを楽しみにしていました。しかし、いざ実際、教壇に立った時に感じたことは、自分の内にある情熱ではなく、自分の情熱に対する疑問でした。自分がよいと思ったことを、話す相手の気持ちを考えずに自分の目線で話すことは、ただの押しつけではないかと思ったのです。そして、もしかすると、自分が良いと思って言ったことで、40人いる生徒の中の誰かを傷つけてしまうのではない

かと思うと、とても不安になり、また発する言葉一つひとつに重みがあり、責任を強く感じました。私は、そこで、教師の仕事は、ただ自分の情熱を生徒に伝えることではなく、生徒の立場に立って、生徒の成長を考えて必要な言葉や行動を示すことなのではないかと感じました。自分の中の「教師」に対するイメージが変わったこの経験は、私にとって実習を通して得ることができた貴重な経験の一つになりました。

2つ目は、実習を通して、人と関わる時に大切なことは、感謝と喜びをもって相手と向き合うことであると実感したことです。私は、実習に臨むに当たって心がけようと思ったことがありました。それは、学校の中で、生徒、先生、実習生と出会った時はいつも笑顔で快く挨拶をすることでした。また毎朝はできませんでしたが、可能な限り、朝は校門に立って挨拶をすることを心がけました。私は、笑顔でいることは、他の人との関係を築く上で、両者の間にあるいくつもの壁を簡単に越えさせてしまう魔法の様なものだと思います。実習最後の日に生徒のなかに、「いつも先生の笑顔に元気をもらっていました。」と書いてくれた人がいました。私はその時、心から実習に来ることができてよかったと思いました。

実習を通して得たものはその他にも沢山ありますが、どれも自分にとって良い物ばかりです。私は、泉北高校で実習ができたことをこころから感謝しています。

ホームページ アドレス紹介  総合の案内、クラブの戦績結果などホットな情報をお伝えします。ぜひご覧ください！ http://blog.livedoor.jp/semboku_obog/index.html

活躍されてる同窓生!! 

9期生 坂口健吾 パン工房SAKAGUCHI



御池台の閑静な住宅街の近隣センターに、その店があります。店舗はカタカナの口の字型に並び、店舗の入口は敷地の中心に向き、道路からは店の裏しか見えません。住宅環境を考えた商業施設なのですが、知らない人には、ある意味とても入りにくい近隣センターです。その中にパン工房SAKAGUCHIは、ひと際目立っています。屋には商品が無くなっているのです。2時に何うと棚はほとんど空っぽ、何ちゅ店だと思いましたが、関西テレビの「よ〜いドン」でも取上げられた有名な店なのです。

店の経営者は9期生の坂口さん、実家が津久野でお米屋さんを営み、小さい時から米屋を継ぐもんと育ち、高校生の頃も、「いずれは継いだらうな」と、普通に考えていました。

当時は、お米屋さんも儲かっていて、高校を卒業する頃に、この物件を購入しました。お父さんは、お米屋さんをする為とか具体的な計画をしていたのではなく、今は違う酒屋や米屋といった商売は儲かっていたので、「買っておいば、何か出来るのでは…」と、先見の明と余裕から購入、今となっては、パン工房の始まりでした。

三重大学の農学部(今の生物資源学部)に決まり、このまま卒業後すぐに親元での仕事には抵抗があり、暫らくは別の仕事をしてみたいと考えたものの、では何をするか、何がしたいのか考えても具体的には無く、とにかくお米屋さん以外と考えていました。

当時パン屋はオシャレで珍しく、「お米は配達せなアカンけど、パンは、買いに来てくれる…」と、そんな軽い気持ちだけだったのかわかりませんが、大学入学後すぐパン屋でバイトを始めます。

朝5時から10時までバイト、終われば授業と、4年間頑張り続けて、きっちり4年で卒業し、卒業後も今で言えばフリーターで2年間3件のパン屋で修行し、計6年間で色んな知識を得て、親もまだ若かったので、応援してくれ開業資金の相談や保証人にもなってもらい、そして23歳の若さで、「何とかなるやろう」と、開業しました。

しかし今考えればたいした知識も無く、店舗を見た時には、店の入り口がバス通りから見えず、こんなところで商売が出来るのか、不安もたくさんあったそうです。

お金も無い中の開業、すぐに結婚、奥さんとパートナーさん2人の4人から始め、今年で30年、今では屋にはパンがほとんどなくなってしまっているので、お客さんから、「もっとたくさん焼いて欲しい」と言われながらも、「朝はたくさんあるので朝に来て出来立てのパンを食べて欲しい」と、お願いするお店になっています。

美味いパンを焼くために、生地を一晩寝かせて熟成させるので、準備を前日からすると、機械もスタッフ総勢20名でも今で精一杯だそうです。

坂口さんはコンビニの大手のパンは美味しいと言います。3日たって美味しい作り方があり、それは真似出来ないと言います。しかし逆に、大手のパンの焼きたては工場は近くになく、熱々だと袋詰め出来ないから食べることが出来ない。だからSAKAGUCHIでは焼き立てにこだわり、店は6時から開けている。5時から焼きだす。

朝の焼き立ての美味しいパンを食べていただきたい。そんな思いがお客様にも伝わり、土日は外まで並んでいただくこともあり、遠くからも来ていただいている。

『つらかったこと』を訊ねると、「美味しいパンを焼き続けるのは難しいし、しんどいです。友達とも会えないし、皆が寝る時間から起きだして準備を始める、土日は休めない、休みは研修にあてる生活で、それを見ていた子供2人は会社員です。子供にはつらい思いをさせたくないからです。」

『夢』を訊ねると、「パン屋は難しく、美味しいパンを焼きながら潰れていく店がたくさんあり、製菓学校を出たわけでもないし、有名パン屋で修行した経験も無いけど、街が出来て5年目から開業し、徐々にスタッフを増やし、商品を、種類を増やし、それでも売れ残りを出さずに続けられた。

今と比べればそんなに美味しくなかったと思うが、それでも周りのたくさんの人に支えられ、時代に合わせ試行錯誤を繰り返し、そして今の形になった。

30年間作ったパンはすべて売れた。このありがたい状態をこれからも続けていくこと。」が夢であり目標だそうです。

その為に今持っている知識でもっと美味しいパンを焼くために、今出来る新しいことに挑戦していくことを穏やかに話してくれました。

この話を5月の水曜日に伺いました。木曜が休みだからです。しかし6月からは水曜日でも店を閉めるそうです。水曜は休んで、木曜は新しいパンに挑戦するそうです。店を閉めれば売り上げがゼロになるのですが、今出来ない、2日間熟成させたパンや、新しいパンをお客さんへ提供したいからです。



失敗したら元に戻ってやり直せばいいけどと、気負わず、力まず、自分の出来る限りの努力を惜しまない、素敵な自然体の坂口さんでした。

13期生 山本健二 株式会社きんでん秘書部



今回、お話しをお聞かせ頂いたのは 株式会社きんでんの秘書部でお仕事をされており、空手とマラソンがご趣味と言う山本健二さんです。

私が山本さんにインタビューをさせて頂こうと思ったきっかけは「秘書部」と言う部署名、そして「秘書＝女性」と言う私のイメージから、男性が秘書部でどういうお仕事をされているのか興味を持ったからです。

ところが、いざお話しをお聞きすると、入社当時のお話しや、阪神大震災当時のお話し、またそもそも「きんでん」に対して持っていた私の概念が大きく変わるお話しも飛び出し、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

山本さんがお勤めの株式会社きんでん。

関西エリアにお住まいの方なら、電柱のキワに停まった作業車を見掛れたり、引越時に電話やネットの配線でお世話になったり。

前身は「近畿電気工事株式会社」ですから、関西人の殆どの方が知っている会社、ですよ。

ところが、西日本でのお仕事は約半分の53%。

大阪には「本店」があり、東京には東京本社があり、まさに北は北海道から南は沖縄までの日本全国のみならず香港やグアム・ドバイ(!)など数カ国に事務所を構え、世界80カ国以上で実績を残しているのだそうです。

また、これも思い込みでしたが関西電力関係のお仕事は20%に過ぎず、私達の社会生活に於けるエネルギー・環境・情報などの分野であらゆる電気工事を手掛け、私達をトータルにサポートしてくれているのです。

あの「あべのハルカス」や東京の「虎ノ門ヒルズ」も手掛けた会社だったんですよ。

そんな「きんでん」に平成元年に入社した山本さん。

さて半年間の現場実習後に配属されたのは、兵庫県神戸市長田区にある神戸支店・兵庫営業所でした。

配属当時は総務部で「労務管理」の仕事を任せられました。

「労務管理」と言っても100人以上の先輩社員相手に何をしたら良いのやら…。

電柱に登るにも資格が必要で、資格を取るにも2年間の専門教育が必要で。

作業には、停電を避ける為に活線(電圧のかかった状態)で送配電線の修理などを行うものもあり、先輩方は真夏の炎天下も感電しないようなゴムの上衣にゴム手袋・ゴム長靴の出で立ちです。

当然汗の量は怖いくらい!

さらに、墜落などにも細心の注意を払いながらですから体力も神経もすり減ります。

そんな先輩方のフォローも徐々にこなせるようになった頃、あの日が訪れました。

1995年1月17日 阪神淡路大震災です。

当日は振替休日明けの火曜日。朝礼にそなえ普段より早く吹田市の自宅を出、長田区の事業所へ向かおうと駅で電車を待ちますが電車はやって来ません。

きびすを返して自宅から車で事業所へ向かいました。

途中ヒッチハイクの人を乗せたりしながら、信号機が故障し、路面が損傷した道を事業所へと急ぎました。

途中には橋桁が下がって車が通行出来なくなっている所もあり、やっとの思いで事業所へ到着したのはなんと夕方4時。

朝7時から9時間の行程となりましたが、当日はとにかく事業所へ着く為に必死でした。

幸いにも従業員は全員無事で、私が必死だったように自宅が半壊した社員も含め全員が出社し、会社の復旧を急ぎました。

そんな中、本社や近隣の事業所からすぐさま応援が入って来ました。

我々のトイレさえ整わない状況の中、宿や食料の手配にも尽力しました。

配管が錆びようとトイレの水に海水を使用。

物資を運ぼうとしてもひどい交通渋滞で車が使えない。

とうとう釣り好きの社員が所有する船を使って海からも物資の運搬にあたりました。

近隣の食料倉庫にあったカップ麺を直接交渉で売ってもらったり、大きなタンクが手配できた後には自衛隊から給水を受けたり、電気の復旧工事と言う事で給油などを優先してもらったり。

本当に色々な事がありましたが、一部の電気だけが使用出来て、ガス・水道が使えないと言う状況から1週間で復旧出来た事は今考えても社員の頑張りや周囲のみなさんのご協力のおかげだと思っています。

私は若手社員だったにも関わらず、事務方は一人だった為、決断しなければならぬ場面がたくさんあり、総務部もやりがいのある仕事だったと思います。

そんな大混乱からようやく脱し「復興」に掛かり始めた7月、本店への異動が決まり現在に至る「秘書課」に配属されました。

当時の秘書課は11名・男性6名程。

専属秘書は社長・会長付きで勤務しますが、殆どの課員は役員のスケジュール管理や会議の運営事務局などが主な業務となります。

取締役会ともなると、会議内容の確認・資料の準備など多岐に渡る業務が発生します。

これらを正確・迅速にこなし、且つトップの判断基準になる材料を用意するには、社内全般についてはもちろん、社会常識・社会情勢など様々な知識を備えておく必要があります。

「きんでん」ではトップ自らが動きますので、我々秘書課員といえども「営業」の気持ちで考え・動きます。

役員と取引先とのアポイントひとつにも下準備が重要な事が多々あります。

20年前に転勤したての時には何も判らず、付いて歩くだけでも大変でした。

未だにトップから叱咤激励される事もありますが、関わった仕事が大きな成果に結び付いた時には心から喜べるようにもなりました。

この仕事に限らず、相手の立場に立って考え、レスポンスを早くする事は非常に重要であると実感しています。

他部署からのヘッドハンティング(?)もなく、秘書課では一番の古株になってしまいました。(笑)

上司がご子息のマラソンを応援に行き、「応援してる場合やない!自分も走るぞー!」と走り始め、私をジョギングからマラソンに引き込んだ。マラソン仲間でもあり、何でも話せる良い関係を保たせてもらっています。

過去には「仕事は面白おかし」と論してくれる上司もおおり、私も同じ事をするのなら「楽しくしよう」と心掛けています。

そんな思いから社外でも、泉北高校時代の親友と年に1回の旅行を楽しんだり、同期が綾野町で経営する井上酒店で開催される飲み会にも顔を出しています。

子どもを空手に送迎するうち、自分も習い始め、子どもさんが辞めた今でも続けていたり、メタボ対策で始めた長居公園ウォーキングで、ランナーに抜かれるのが悔しくてジョギングを始めた…。

さらには京都マラソン・大阪マラソンにも参加する程になった負けん気の強い方でもあります。

私がお話しをお聞き出来たほんの少しの時間の間にも、興味のあるお話しがどんどん溢れ出て来て、全てご紹介出来ないのが残念です。

仕事・家族・友人を大切に、全てに良いバランス感覚を感じる事の出来る山本さん。

「課長 島耕作」が目の前に現れたかと思うような、男性から見て素敵な方でした。



34期生 前田あゆみ



泉北高校同窓生の皆さま、こんにちは。34期生の前田あゆみです。

私はある出来事から今年1月放送のテレビ番組「世界仰天ニュース」に出演させて頂きました。それは同じ泉北生の姉・恵(32期生)が番組に手紙を送ったことで始まりました。

私は3年生の時に急性骨髄性白血病を発病し長い入院生活を送ることとなりました。昼夜を問わず襲う副作用に体重が34キロまで落ちる過酷な治療でしたが、私是一つの希望を見つけました。当時の校長・秦先生がして下さった「良くならたら君だけの卒業式をしよう」という約束です。くじけそうなきはこの約束を胸に治療と向き

合い、2007年11月、先生方と同級生に見守られる中、8カ月遅れの卒業証書を頂きました。私が生きることを願ってくれるみんなの顔を見て、まだ続く治療に立ち向かう勇気ももらい「絶対に治す」と強く誓いました。

そして2年半後全ての治療を終えると、今度は成人式パーティーが待っていました。卒業式に続き成人式に出られなかった私を、ここでも多くの同級生が「退院・成人おめでとう」と迎えてくれたのでした。溢れる感謝と生きていて良かったという感動は今でも鮮明に思い出されます。みんなにももらった感動は今でも私の中に続き、蹟く度に私を前向きに立ち直らせてくれています。

放送後、病気に向き合う勇気が出た、希望を持った、など全国から多くの反響を頂き、「妹の事を知ってほしい、辛い環境の人を励ましたい」という姉の思いが届いた奇跡でした。一つの命から多くの力を生み出せるんだと改めて命の重み尊さを感じているところです。

現在私はすっかり健康を取り戻し、小中学校や大学で命の尊さを伝える講演を行っています。特に泉北高校との絆をお話させて頂くと皆さんとても真剣に聞いて下さいます。講演後「生徒が教師を信じて頼って来てくれた」「医療に従事することに誇りを見つけた」とのお声を頂く度、救われる思いです。たった一つの命を一生懸命生きてほしいという願いを込めて、これからも活動を続けていきたいと思っています。今後はガン治療患者の方をメイクアップやネイルアートなどで元気づけるボランティアも予定しており、泉北高校のみなさんに頂いた力を精一杯還元していこうと思っています。

思いやりの深い泉北高校生と出会えたこと、一員であったことを誇りに思います。今後も多くの素敵な力を生み出す、温かく明るい泉北高校であり続けて下さい。

同窓会は皆様方の会費で運営されております!!ぜひご協力をお願いします!

同窓会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

同窓会では、同窓会報の発行をはじめとして、皆様方の親睦を図るために様々な活動を行っております。同窓会は、皆様方からの入金や同窓会会費により運営されております。

そのため、これからの同窓会事業の継続と発展のためには、皆様方の温かいご支援が不可欠であり、ご厚志を賜りたくお願いする次第でございます。

つきましては、何卒趣旨をご賢察の上、同封の振込用紙にて、「同窓会会費」(1口2,000円、何口でも結構です)の振込みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

大阪府立泉北高等学校同窓会会長 大井 利三

平成26・27年度 部活動大会戦績結果

【E S S部】

部員24名所属。毎月1度米領事館で行われる総領事カフェで英語でディスカッションしたり、ルワンダの高校生とのスカイプでの交流や、ルワンダに送る教育支援物資を募る活動を行いました。活動で自然に英語を使うということを大切にしています。

【陸上部】

偉大な先輩方に追いつけ追い越せを合言葉に上位大会を目指し日々頑張っています。

【平成26年度の活動報告】

大阪高校総体 2年男子800M 第8位
2年男子やり投げ 第3位
2年女子走高跳 第3位
近畿高校コース (近畿高校総体) 2年男子やり投げ 第3位
全国高校駅伝大阪予選 男子第28位
大阪高校総体駅伝 男子第23位

【男子バスケットボール部】

近畿大会出場 [近畿ベスト8]
1回戦 東北 73-62 報徳学園
2回戦 東北 79-59 奈良 (1位)
準々決勝 東北 61-80 大阪学院

【女子バスケットボール部】

近畿大会出場を目標に、部員一丸となって、日々の練習に打ち込んでいます。
「他人よりも2倍3倍も努力し、やらされる3時間よりも自らすすんでやる1時間の価値を知り、最後までやり直し、決してあきらめない。」
文武両道の精神のもと、公立高校の星となれるよう、勉強に、バスケットボールに頑張っています。

【新入大会】

決勝 東北 74-68 賢明学院
南地区優勝
中央大会 大阪府6位

【女子バレーボール部】

近畿大会出場を目標に、部員一丸となって、日々の練習に打ち込んでいます。
「他人よりも2倍3倍も努力し、やらされる3時間よりも自らすすんでやる1時間の価値を知り、最後までやり直し、決してあきらめない。」
文武両道の精神のもと、公立高校の星となれるよう、勉強に、バスケットボールに頑張っています。

【2014年度】

インターハイ予選 (4月~6月) 大阪ベスト8
大阪総体 (8月~9月) 大阪ベスト16
堺市種目別大会 (7月) 第2位
公立高校南地区大会 (11月) 優勝
// チャンピオン大会 第3位
インターハイ予選 (4月~6月) 大阪ベスト16

【2015年度】

部員 1年生5名、2年生12名 (うちマネージャー1名)、3年生4名
現在、1・2年生21名で活動しています。
【女子バレーボール部】
H26、1月~2月 新入大会 大阪府ベスト16
H26、4月 部別リーグ 1部2位
H26、6月 インターハイ予選 大阪府ベスト32
H27、1月~2月 新入大会 4回戦敗退
H27、4月 部別リーグ 1部3位

【女子ハンドボール部】

【27年度の戦績】
第69回高校春季総合体育大会兼第66回インターハイ予選大会 (ブロックリーグ)
東北 17-11 風
東北 28-3 佐野・平野
(ブロックトーナメント)
東北 13-9 東大谷
準々決勝 東北 13-17 堺東
女子ハンドボール部は3年生5人が引退し、現在2年生2人と1年生8人の計10人で毎日活動しています。今年元氣な1年生が引けいってくださったので、チームの雰囲気も明るく、毎日の練習も充実しています。まだまだチームとしても未熟ですが、チーム全員が同じ目標に向かっていけるように。そして、目標を達成するために1日1日を大切に頑張ります!

【器械体操部】

現在部員減少のため大会出場ができていません。
【アウトドア部】
月1回程度、山に登ったり、里山保全ボランティアに参加しています。
【あまだれ部】
活動日・・・毎週水、金曜日
マンガを描いたり、読んだり、イラストを描いたりしています。文化祭ではたくさん作品を展示していますので、見に来てください。
【エクセ部】
平成26年度
帰国生を中心に、外国にルーツを持つ生徒との国際交流を行っています。
ボランティア活動やテスト前の勉強会も行いました。
3月 帰国生進路ガイダンス (3名参加)
5月 府立外教新入生歓迎会 (運営委員1名新入生2名参加)・エクセ部新入生歓迎会
6月 府教委主催帰国生進路説明会・ワイワイトーク1・ハンマダン
9月 文化祭物販販売
10月 大阪マラソン語学ボランティア・帰国生入試説明会 (泉北高校会場・1年生スピーチ)
12月 中国の集い・子ども作文コンクール1名表彰
1月 ワイワイトークII 2名参加
1年生4名 2年生5名 3年生6名

平成27年度

帰国生を中心に、外国にルーツを持つ生徒との国際交流を行っています。
ボランティア活動やテスト前の勉強会も行います。
3月 帰国生進路ガイダンス (1名参加)
5月 府立外教新入生歓迎会 (運営委員5名新入生3名参加)・エクセ部新入生歓迎会
6月 府教委主催帰国生進路説明会・ワイワイトーク1 (1名参加予定)・ハンマダン
9月 文化祭物販販売
10月 大阪マラソン語学ボランティア・帰国生入試説明会 (泉北高校会場・1年生スピーチ)
12月 中国の集い

1月 ワイワイトークII
1年生7名 2年生4名 3年生5名
【コーラス部】
平成26年度
4月10日 新入生歓迎会
9月13日 文化祭
11月9日 第8ブロック演奏会 (榎文化会館)
2月3日 合唱コンクール (榎文化会館)
平成27年度
4月10日 新入生歓迎会
以下、本年度活動予定です
9月12日 文化祭
11月3日 第8ブロック音楽会 (榎文化会館)
2月2日 合唱コンクール (榎文化会館)

【サイエンス部】

サイエンス部は2006年にサイエンス同好会として発足しました。
2008年にはサイエンス部として認められ、現在に至ります。部員数は19人 (2015年5月現在、1・2年生です)。
最新の主な受賞歴
平成24年度 第1回ハイス쿨放射線サマークラス 最優秀賞
平成26年度 第58回大阪府学生科学賞 優秀賞 (大阪府教育委員会賞)
平成26年度 第62回日本生進学会 ナチュラルヒストリー賞

【サッカー部】

平成26年度 大阪高校サッカー春季大会 1次予選 4回戦敗退
平成26年度 堺市種目別優勝大会 準優勝
平成26年度 U-18 2014高円宮杯 2部リーグ出場
平成27年度 大阪高校サッカー春季大会 1次予選 3回戦敗退
平成27年度 U-18 2015高円宮杯 3部リーグ出場中

【ソフトテニス部】

平成26年度
大阪高校春季大会 団体戦 本選出場
堺市種目別大会
ベスト8 加藤・飯森ペア
ベスト8 森川・小椋ペア

【ダンス部】

●H26. 8. 1 第7回日本高校ダンス部選手権 全国決勝大会進出
●H26.11.24 ヒューマンダンスバトルコンテスト 第3位
●H26.12.26 第7回日本高校ダンス部選手権 冬季大会 愛蔵賞
●H27. 3. 8 岸和田ライオンズクラブ☆デー第7回高校生ダンスコンテストスモールクラス 準優勝

【バドミントン部】

現在、部員数29名、高校体育連盟の試合を中心に堺市の大会等に参戦。週6回の練習を行っています。今年は少しでも上位に食い込むよう日々頑張っています。
【ラビー部】
昨年度44期生の部員4名が卒業して、現在は部員がいません。顧問 (25期卒業生) が全力で勧誘中です。

【演劇部】

昨年度、部員数が0人になってしまっ存続が危ぶまれたのですが、必死の祈りが通じ1年生が入部してくれました。中学校では野球をしていたという彼ら。パントマイムや発声練習などの基礎練習を行い、メキメキ上達しています。「演じて楽しい!」と、思えるクラブをめざして日々精進しています。

【軽音楽部】

新入部員50名、100名近い部員数の中で工夫しながら新入生歓迎ライブ・文化祭ライブ・クリスマスライブ・パレタインライブを行うために日々練習を視聴覚室で行っています。
ステージでパフォーマンスするだけでなく、日常生活においてもステージのように振舞うよう、心がけています。学校行事を全力で取り組むこと、凡事を徹底すること、「見せる・魅せる・MeSell (自分を売り込む)」を日頃から実践することなどをモットーに頑張っています。例年8月には三木楽器・産経新聞共催のWe are Sneaker Agesという軽音楽の大会に参加します。松下IMPホールで代表部員が演奏します。
その他各々の音楽会などや、高等学校軽音楽連盟に加盟しており、各種コンサートや、他校との交流を行っています。

【剣道部】

●第10回公立高等学校剣道練成大会
初段の部 多田・玉置 ベスト32
●第28回狭山市長杯剣道大会
高校生の部 井上 2位
●第69回大阪高等学校総合体育大会剣道大会
女子団体ベスト32
今年、部員3人を迎え入れて、女子4人・男子4人、計8人で平日と土曜日に練習しています。
皆で練習メニューを考えたり、土曜日はOBの方に来て頂いて、熱心な指導を受けながら頑張っています。
6月に行われる団体戦に向けて、部員全員で一糸懸念頑張っています。

【柔道部】

新入部員が2名入りました。現在3年生2名、2年生1名、1年生1名の合計6名で、土曜日には大井先生のご指導を受け頑張っています。古豪復活をねらいます。

【書芸部】

主に毛筆で字を書いています。
●芸術科書道の三川先生のお手本を見て書いています。
●リラックスした雰囲気でも楽しくやっています。(音楽を聴きながら)

【女子ソフトボール部】

現在部員減少のため連合チームで大会に出場しました。

【男子硬式テニス部】

主な戦績
<平成24年度>
○ 大阪南地区1年生大会 Best16 (藤原大輔)
○ 第6回4学区テニス大会 団体の部 Best16 (清家雄也・藤原大輔・片山高夫・高木啓太郎)
<平成25年度>
○ スプリングテニストーナメント 本戦出場 (辻本麻生)
○ 第7回4学区テニス大会 シングルの部 Best32 (松尾尚樹・高木啓太郎)
<平成26年度>
第8回4学区テニス大会 団体の部 Best 8 (遠藤郁也・逆井佑介・丹波雄介・泉偉太郎・竹尾敦志)
毎日、勝利を目標に練習に励んでいます。昨年度は、団体戦でBest 8までいきました。それ以外にも、春季・秋季・公立大会の団体戦でも、すべて1勝を挙げ、負けた試合でも、あともう少し! というところまでできました。
今年も上を目指してみんなでがんばります。

【女子硬式テニス部】

学校での練習はもちろん、土日には積極的に練習試合や合同練習に出かけ、たくさん学校と一緒に練習しています。テニスだけでなく、夏には焼肉、冬にはたこ焼きパーティーや焼き芋など、楽しいイベントも盛りだくさん。そんな私たち女子テニス部は、いつも元気に楽しく活動しています。
平成26年度は、個人・団体ともにたくさんの結果を残すことができました。テニスは個人スポーツですが、チームが一丸となって戦う団体戦で「公立対抗大阪府ベスト16」、1次季大会大阪府ベ

スト16」、「4学区大会ベスト4」という結果を出せたことがとても嬉しく、自信になりました。

今までチームを引っ張ってきただけだった45期の先輩方が5月に引退してしまい、とても寂しい気持ちでいっぱいですが、2年生が中心となって、新しい「泉北女子テニス部」を作っていくと思います。応援よろしくお願いします。
活動の様子や練習計画は、ブログ (http://sembokutennis.blogspot.jp/) でもご覧いただけます。
平成26・27年度 主な戦績
(平成27年度)
・大阪高校春季テニス大会 ダブルスの部 本戦出場 (田中・吉村)
・大阪高校春季テニス大会 シングルの部 本戦出場 Best 64 (吉村)

(平成26年度)

・阪南ダブルス 本戦 準優勝 (吉村・田中)
・第4学区テニス大会 団体 Best 4 (吉村・田中・疋田・上阪・長尾)
・第4学区テニス大会 シングルス 本戦Best 8 (吉村)
・第4学区テニス大会 シングルス 本戦出場 (田中)・Best 16 (長尾)・Best 8 (吉村)
・阪南シングルス 本戦 第3位 (長尾)
・阪南シングルス 本戦出場 (吉村・田中・疋田・長尾)
・公立対抗 Best 16 (吉村・近藤・筒井・田中・疋田・長尾・奥田・上阪)
・秋季テニス大会 1部 本戦出場 大阪府Best 16 (吉村・筒井・田中・疋田・長尾・奥田・上阪)
・大阪高校総体テニス大会 シングルの部 本戦Best 64 (吉村・田中)
・大阪高校総体テニス大会 ダブルスの部 本戦出場 (吉村・田中)
・サマーテニストーナメント ダブルスの部 本戦出場 (田中・吉村)
・サマーテニストーナメント シングルの部 本戦出場 大阪府Best 8 (吉村)
・第4学区テニス大会 ダブルス 本戦出場 (田中・吉村)
・スプリングテニストーナメント 本戦出場 (吉村)



【少林寺拳法部】

平成25年 全国高等学校少林寺拳法選抜大会
男子規定組演武の部 優勝
平成25年 少林寺世界大会 in Osaka Japan
一般女子初段の部 準優勝
平成26年 全国高等学校少林寺拳法大会
女子組 演武の部 準優勝
平成27年 全国高等学校少林寺拳法選抜大会
男子規定組演武の部 優勝

【吹奏楽部】

平成26年度吹奏楽コンクール (大阪南地区予選) に参加。2015年3月22日 (日) に榎文化会館で定期演奏会を開催。その他、入学式や学校祭など校内外での行事、「美樹の園」や様々なイベントでの依頼演奏に多数参加して活動。部員は現在46名。

【水泳部】

小泉 明星 南大区 3位 100m背泳ぎ 1分17秒10
八学区 3位 50m背泳ぎ 100m背泳ぎ
豊川 裕弥 八学区 5位 100mバタフライ 1分04秒20
2位 200m背泳ぎ 2分36秒01
6位 50m背泳ぎ 33秒83
富士田光司 八学区 4位 100mバタフライ 1分10秒38

【卓球部】

1年生5名、2年生3名の計8名で、平日の放課後と土曜日の午前中に活動しています。
高体連の大会の他、堺市の大会などにも出場しています。今年も部員も増え、それぞれの目標に向けて切磋琢磨しています。

【男子ハンドボール部】

H26 高校春季総合体育大会兼 インターハイ予選ブロック大会準決勝敗退
H26 高校新入大会兼全国選抜予選大会南ブロック準々決勝敗退
H26 堺市長杯ハンドボール大会第2位

【美術部】

泉北高校OB展に向け、ワイヤーワークスにチャレンジ中です。
【放送部】
現在部員7名毎日のお昼休みの放送・映像機材を使用する授業・集会などの設備準備をしています。学校行事や生徒会行事、P T A行事に積極的に参加しています。

【茶室部】

私たちは、裏千家茶道の井上宗豊先生の指導の下、夏休みには生魂社での「私たちのお茶会」でお手前を発表するのが大きな目標です。
文化祭で催す恒例のお茶会は毎年好評で、池坊華道の太崎幸江先生にご指導いただいている華道展示も行っています。学校での国際交流時にも活躍しています。



平成27年度 泉北高等学校 高校祭



体育の部・文化の部

「炎天下の中の俺天下」

体育の部 6月4日(木)(実施済み) / 文化の部 9月11日(金)・12日(土)
その他生徒会行事:合唱コンクール 2月2日(火)

転出した教員より

生徒として3年間、そして教員として6年間、泉北高校でお世話になりました。泉北高校に戻って初めて教壇に立ったクラスが1年3組。かつての私の高校生活も1年3組で始まったことを思い出し、授業をしながら感動したことを今でも覚えています。6年間の泉北高校での教員生活は本当に幸せでした。ダンス部の顧問もさせて頂き、初めはまだまだ未熟で葛藤もありましたが、部員たちや周りの先生方に助けられ、みんなでクラブを作り上げていくことができました。担任としても3年間、44期生のみんなと本当に楽しい時間を過ごさせて頂きま

した。「こんなこともできるんだ」「なんて優しい子たちなんだ」驚きと感動の毎日でした。ひとつひとつ行事をこなしていくたびに一回りも二回りも大きくなる生徒たちを見るのが嬉しかったです。

たくさん先生方に支えて頂き、恵まれた環境で働くことができたことを心より嬉しく思います。特に、教育実習で出会い、私に教員としての幸せ・喜びを教えてくれた福井先生に本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

英語科
西 由未子 (旧姓:川野)
(現在 大阪府立貝塚南高等学校)

平成27年度 教職員の異動

Table with columns for classification (退職, 転出, 転入), position, name, subject, and notes. It lists staff changes for the 2015 fiscal year, including departures, transfers, and new hires across various departments like English, Math, and Physical Education.

2015年度 同窓会 進路状況

Table showing the career paths of alumni from the 2015 fiscal year. It lists the number of graduates who went to various universities and colleges, categorized by type (public, private, vocational, etc.).



●同期会の補助金について●

同窓会では、各期の同窓会を開催する場合に郵送費の補助をしています。

その際、同窓会事務局に次の4点をご提出いただきます。

- 1, 郵送費の領収書
- 2, 同期会開催の案内文
- 3, 開催後の会報への掲載原稿
- 4, 郵送時の名簿

詳しくは同窓会事務局にお問い合わせ下さい。

卒業記念品



プロジェクター
(視聴覚教室)

編集後記

梅雨の中休み、窓から入る風に、ふと夏の兆しを感じて目をやると、成長した紅葉の葉がひらひらとこちらを招いていました。ここは2階、成長した紅葉の誘いを眺めながら、泉北高校の歴史に思いをはせます…。もうすぐ創立50周年がやってきます。約半世紀の間、泉北高校生を見続けてきた紅葉とともに、発展してきた泉北高校を祝いたいと思うこの頃です。高校と共に発展し、歩いていく同窓会、次の半世紀へ向け、若い力に期待したいと思います。



さて、1面の写真はどこかお分かりになりましたか？
正解は、**BC棟間赤レンガの石像(ライオン)**です。

ご注意下さい

◆最近、同窓会の名前を用いて、新聞への広告依頼やさまざまな勧誘の電話があるようです。このような業者と同窓会は無関係であり、同窓会が正式に契約しているのは**㈱サラトのみ**です。どうか、対応にご注意いただき、不審な電話にはきっぱりとお断りいただきますようお願い致します。